

## UNHCR (国連難民高等弁務官事務所) 支援活動

世界では多くの人々が内戦や戦争に巻き込まれていたり、宗教や人種、政治的な立場が違うといった理由で、迫害を受け、生命の安全をおびやかされています。そのため故郷から逃げ出さざるを得ず、他国に避難した「難民」、国内の別の地域に避難した「避難民」が人々が安心できる生活に戻れるよう支援する活動を行っています。



店舗での募金活動

## AJU自立の家 車いすセンター・ピア名古屋

1982年より旧ユースタアの従業員で続けられてきた「車いすの無料貸し出し」活動を支援する募金活動を、2009年からはユニーが引き継ぎ実施しています。2012年度は100万円を寄付しました。また、知的障がい者授産施設ピア名古屋が多治見市の修道院で収穫したブドウで醸造したワインを販売し、障がい者自立支援を行っています。

## 愛の1円玉募金

各店舗の店頭で「愛の募金箱」を設置し、お客様・お取引先様・従業員から善意の募金を集めています。集まった募金は、地域の社会福祉協議会や福祉団体へ寄付しています。

中京地区	10,404,254円
関東地区	2,151,444円
山静地区	764,469円
北陸地区	975,355円
合計	14,295,522円



愛の1円玉募金箱と感謝状



AJU車いすセンター



エコ博でピア名古屋のワイン販売

## 東日本大震災支援

2011年3月11日の東日本大震災は大きな被害をもたらしました。ユニーでは発生当初から迅速に災害支援活動を開始し、支援物資や義援金を届けてきました。現在も被災地では復興事業が行われていますが、失われたものは大きく、まだまだ支援活動が必要です。ユニーでは特に「子ども達の未来のために」他の企業や団体と協働で、お客様と一緒に支援活動を行っています。

### 子ども達の進学支援

ユニーとサークルKサンクスは、大震災で親を亡くした子ども達が将来の夢をあきらめずに進学できるよう、「公益財団法人みちのく未来募金」を通じて2012年より10年間にわたり支援をしています。

### ブックオフとのチャリティーで絵本・文具を寄贈

お客様の家庭にある、いらなくなった本やCD、ゲームなどを店舗（アピタ阿久比店、リーフウォーク稲沢、ラスパ御嵩、アピタ江南西店、アクアウォーク大垣、アピタ知立店）で回収、ブックオフに引き取ってもらい、買い取り金で東日本大地震被災地の子ども達に絵本と文房具を贈りました。



家庭で不要になった本、CD、ゲームの回収

寄付された本・CD・ゲームの点数	4,381点
寄付金額	39万5,145円

### ベルマークを集めて被災地の子ども達を支援

2012年に引き続き、1月10日から2月19日の期間、ユニー全店のサービスカウンターと事務所で、お客様と従業員からベルマークを集めました。集まった50万点はベルマーク教育助成財団名古屋事務所に寄贈し、東日本大地震で被災した子ども達への学用品支援に使われます。この活動は、キリンビバレッジとの協働で行っています。



回収したベルマークとキリンビバレッジ担当者



サービスカウンターでベルマークを回収

### 被災地の健康対策、マスクを寄贈

大震災から季節が一巡し、寒さが厳しい東日本では、風邪やインフルエンザ予防のためにマスクが必需品です。ユニーは、被災地に使い捨てマスクを約40万箱寄贈しました。皆さんの健康が守れたと、多数の方より感謝状をいただきました。



マスクを受け取った仙台の皆さん

### 学生たちとクリスマスのチャリティーコンサート

リーフウォーク稲沢で、名古屋コミュニケーション専門学校（通称：コメ）の学生達のチャリティーコンサートを開き、お客様から寄せられた募金で被災地の子ども達に文房具を贈りました。学生達はプロのボーカリストを目指していて、アカペラのゴスペルは本格的で迫力があり、お客様も聴き入っていました。クリスマスに心温まるコンサートでした。



クリスマスチャリティーコンサート

### 被災地の子ども達の心に夢と力を!企画

花王との協働で、被災地の子ども達に、絵本613冊（84万3,569円）を寄贈しました。この企画は、ユニーとサークルKサンクスの店舗で、1カ月間にお客様が購入した花王製品の点数に応じて寄付をしたものです。寄付先の7カ所の小学校、幼稚園、保育園から感謝の手紙が届きました。



絵本を受け取り笑顔を見せる子ども達